

◆主要フィットネス11社 2022年3月期第1四半期（4～6月）概要

主要フィットネス11社の「2022年3月期第1四半期決算短信」が発表されましたので概要ご報告いたします。

ポイント1：全社増収

新型コロナウイルス感染症の長期化により、緊急事態宣言発出によるフィットネスクラブに対する休業要請の対象が、前年同四半期期間は全地域であった一方、当第1四半期期間は東京都及び関西圏の一部の地域に限定され、一部を除き店舗の営業を継続できたため、全社増収となりました。

ポイント2：収支改善により8社中6社が営業黒字転換

営業利益は非公開の3社を除き、8社中6社が（増収効果に加えて）赤字店の閉鎖や経費削減等により黒字転換しました。なお、営業赤字2社においても6社と同程度の前年改善額となっています。

ポイント3：各社の真価が問われる新たなビジネスモデルの構築

コロナ禍における環境変化と個人のライフスタイルの変化は、フィットネス各社に過去に例を見ないほどの「危機」と「機会」となりました。ウィズコロナを生き抜くとともに、ポストコロナを見据えた新たなビジネスモデルの構築は全社共通の課題であり、22年度は各社の真価が問われることになるでしょう。

◆主要フィットネス11社 2022年3月期第1四半期実績（4～6月売上高順）

企業・ブランド名	売上高 (億円)	前年同期比 (%)	営業利益 (億円)	前年差 (億円)
RIZAPグループ (※) RIZAPを含む美容・ヘルスケア合計	110	+42.2	4	21
コナミHD (※) コナミスポーツクラブ	93	+97.1	6	17
セントラルスポーツ	93	+74.8	1	3
ルネサンス	82	+115.3	▲4	16
カーブスHD *22年8月期第3四半期（3～5月）	63	+22.4	4	17
日本テレビHD (※) ティップネス	47	+126.7	非公開	—
Fast Fitness Japan エニタイムフィットネス	31	+67.2	8	6
東祥 (※) ホリデイスportsクラブ	30	+71.8	非公開	—
野村不動産HD (※) メガロス	29	+150.1	非公開	—
バローHD (※) アクトス	24	+64.6	▲2	6
ジェイエスエス	18	+92.1	4	7

注 (※) は各グループ企業のうち「スポーツクラブ事業」などのセグメント実績 出典：各社IR資料よりウェルネスビズ（株）作成